

# 仏法興隆を この身に受けて

担当 釋 法薫

仏性とは。それは、目覚めでしょう。目覚めは、仏の光の中に目覚めるのです。

何のために、目覚めるのですか。人のお役に立ちたいと、この時代をすぐえるものをつくりだしたい、と次から次と促されていくのです。

目覚めのきっかけは、自分の思い通りにいかない生老病死を苦しめての人もいます。しかし、考えてみれば、「なるようになる、なるようになる」に「縁対縁であることに気がつき、つらかったことが転じられたのである。ある八十歳の女性は「夢のまた夢の人生でした。今が一番幸福」と和顔をつくつ



2月11日の法話会

ておられます。目覚めは、愚痴を言うよりは、この今の一瞬を信じ、向上心をもつて、今やる

べきことを積み重ねていくことでしょう。何があっても逃げることなく強く生きねばなりません。親鸞聖人は、果遂といつて死の恐怖を消しています。また、果実は人生のみのりをあらわしているのです。人生は、必ず結果が良いことも悪いこともでてくるのです。その積み重ねをまず受け入れて、素直に真実の教えに耳を傾けて、今が一番幸福であると言ってくるのではないでしょうか。

## 目覚めのお言葉

七歳の女兒「看護師さんになりたいと思っていたのですが、今はケーキ屋さんになりたいです」

八十歳の女性「何度も人に裏切られましたが、そういう人として恨まないで、私にもある業として、申し訳ないとお寺の阿弥陀如来のもとに手を合わせに通いました」

聞法に通う女性「仏法は人を正しく導くものですね。だんだん回りの人が正しい考え方、行動に向かっているものなのです。一人変われば皆変わるがよくなりました」

五十代の男性「すべての人が如来の子として、必要とされ、役割をもってこの世に生みだされてこられたのですね」

初めて参加の仏彫刻者「顔をあらわすことが難しいです。インターネット

で知り、今日、ぜひ拝見させていただきたく、お伺い致しました」

聖徳太子会「宗教法人聖徳山三寶寺認証、吉報ですね。お電話いただきありがとうございます。報告方々、二月三日何十年ぶりに聖徳太子会の方々に再会させていただいた。また、仏法を学びたいです。私を育ててくれた方々に恩返しをしたいですね。

## お祝いのお手紙

箱根 萬福寺 様(湘南組前組長)

宗教法人申請が、承認された由、おめでとございます。

三寶寺の代表者として長年に亘ってのご精進、ご尽力に対し、心から敬意を表します。三寶寺様の坊守様をはじめ、寺族、ご親族、ご門徒の皆さんも大層お喜びのことでしょう。今後、益々のご活躍を祈念いたしております。 合掌

稲津桂子 様

拜啓

この度は、法人認証のこと誠に御目でたきこと、御慶び申し上げます。認証取得に向けて皆様方のご苦労、並々ならぬこととございました。ありがとうございます。今後のこと祈念申し上げます。 かしこ

平安仏所 江里康慧様 江里佐代子様 南無阿弥陀仏

此の度、三寶寺様に於かれましては、念願とされて参りました宗教法人の認証を、お受けになりました事、誠に御慶び申し上げます。

混迷の度を深めます現代社会では新たな認証は先ずもって厳しく難かしい事と聞き及んでおります。その様な中での吉報を拝し今日迄のご活動が認められた証しとしてご同慶に堪えませぬ。

今後とも、五濁末法の世を照らす燈明となつて衆生済度のご法動を頂きますことを念じ上げまして一言お祝いのご挨拶とさせて頂きます。 合掌

## 祝 「宗教法人」認証 「三寶寺門信徒の会」より

私たちが集うお寺「三寶寺」が宗教法人を取得することは、私たち門徒にとって積年の願いであり、皆さま方のご尽力、ご協力によって、この度法人格を得ましたことは、誠に有難く慶びの上ありません。深く感謝いたします。今後とも御同朋手を携えながら、歩みを進めて参りましょう。皆さまのご協力をお願いいたします。